

医療福祉建築賞 2017 募集要項

主催 一般社団法人日本医療福祉建築協会
後援 厚生労働省

一般社団法人日本医療福祉建築協会では、平成3年に厚生省(当時)の後援を得て「病院建築賞」を創設し、平成7年より名称を「医療福祉建築賞」と改めて、医療福祉建築の顕彰事業を実施しております。

賞は、近年竣工した医療・福祉施設及び保健施設のうち、応募のあったものの中から選ぶこととなります。下記の要項に沿って、ふるってご応募くださるようご案内致します。

1. 趣 旨

医療福祉建築賞は優れた医療福祉建築を顕彰し、それを広く世に知らせることによって、これら施設の質の向上をはかることを目的として定めるものである。

優れた医療福祉建築とは、建築として質が高いことに加えて、利用者ならびに職員にとって快適で使い勝手がよいことを条件とする。すなわち中身と器が調和し、いずれにおいても優れていることを意味するものとする。

2. 顕 彰

「医療福祉建築賞」若干点に対して、賞状・賞牌・銘板が贈られる。また、企画、特定の部門計画、工事技術などが特に優れている応募案があった際には、選考委員会でその内容を検討し若干点に対して「医療福祉建築賞 準賞」として、賞状・賞牌が贈られる。

3. 対 象

顕彰の対象となる施設は、平成25年(2013年)4月1日から平成28年(2016年)3月31日までの3年間に日本国内において新築、増改築または改修を行なった医療・福祉・保健施設ならびにその関連施設とする。

なお、上記条件に合致する限りにおいて、前回に応募し選外となった作品の応募もさしつかえない。

4. 応募資格

応募者は、当該施設の開設者または管理者、設計者のどちらでもよい。ただし、選考委員または委員の所属する組織が計画・設計・運営に関与している施設は応募できない(当該施設は委員の任期終了後に応募することができる)。

5. 選考のための提出資料

- (1) 所定の応募申込書ならびに建築概要書
 - (2) 設計主旨
 - (3) 図面 配置図・平面図・断面図など、大きさはA3判。
 - (4) 写真 15葉程度とし、周辺環境がわかるものを含むこと。また、室内については家具・機器等が設置されていること。大きさは任意。
- 上記(1)～(4)をA3判クリアファイル1冊におさめ

て提出のこと。なお、それらをPDF化しCD等に収めたデータを同時に提出のこと。ただし、本会誌『医療福祉建築』に作品全体が紹介されたものについては、(2)～(4)の一部について当該誌の提出をもってこれに替えることができる。この場合でも『医療福祉建築』に掲載分も含めてデータを提出のこと。

6. 応募期日

平成29年8月17日から同年8月31日まで。当日消印有効。

7. 提出先

一般社団法人 日本医療福祉建築協会
住所 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
電話 03-3453-9904 FAX 03-3453-7573

8. 応募料

応募者は1作品につき64,800円(税込)を応募料として応募時に納入する。

9. 選 考

選考は、以下の委員で構成される選考委員会によって「趣旨」に沿った判断にもとづいて行なう。なお、選考過程で必要に応じて現地調査を行なう。また、必要に応じて特別委員をおくことができる。

委員長 笥 淳夫(工学院大学 建築学部 教授)
委員 伊藤 正(鹿島建設(株) 医療福祉推進部 部長)
委員 伊藤 恭行(名古屋市立大学芸術工学研究科 教授)
委員 岡本 和彦(東洋大学 理工学部 准教授)
委員 武村 雪絵(東京大学大学院医学系研究科 准教授)
委員 正木 義博(社会福祉法人恩賜財団済生会支部
神奈川県済生会支部長)
委員 三浦 研(京都大学大学院 工学研究科 教授)

10. 公 表

選考の結果は平成30年3月末日までに応募者に通知するとともに、別途本会誌に公表する。

11. 提出資料の取扱い

応募のために提出した資料は返却する。また、本協会がこの事業の趣旨に則して提出資料を会誌に掲載、さらに図書の出版、または展示などのために用いる場合、受賞者は無償でその使用を認めることとする。なお、その際写真撮影者の記載を必要とする場合は、あらかじめ応募の際に明記する。

応募書類はwebでダウンロードできます。 <http://www.jiha.jp>

※本賞に関するお問合せはメールにてお受けします。 E-mail:office@jiha.sakura.ne.jp

医療福祉建築賞 応募の対象について

2015年度募集要項より、顕彰の対象の期間について改定を行いました。

それまで、顕彰の対象は、定められた期間（2年間）に日本国内において新築、増改築または改修を行なった医療・福祉・保健施設ならびにその関連施設としておりましたが、その期間が3年間に改定されました。応募の機会が拡がりましたので、奮ってご応募ください。

医療福祉建築フォーラム 2017 開催案内

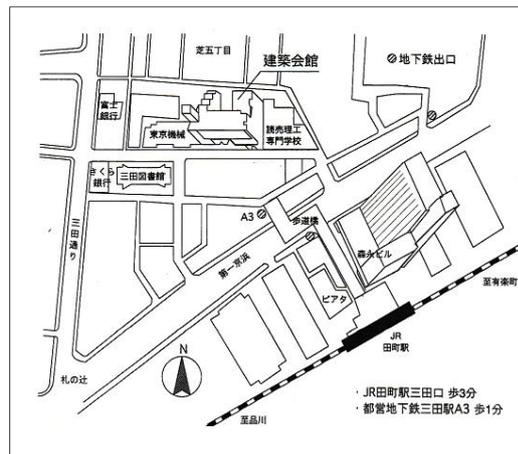
本協会では毎年、医療福祉建築に関する研究・計画・設計者と他分野の方々が、ともに学び、考える場として、医療福祉建築フォーラムを2日にわたり開催しています。

本年度は、東日本大震災後の病院建築、多様化する看取りの場をテーマにしたシンポジウムをはじめ、医療・介護の一体改革、地域包括ケア病棟、救急医療、NICU、ハイブリッド手術、感染管理、などの最新の話題に関する講演を企画しております。

皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

- 会 期 2017年9月21日(木)・22日(金)
 会 場 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)
 主 催 一般社団法人 日本医療福祉建築協会
 定 員 140名 (定員になり次第しめきります)
 参加費 一般：37,800円 JIHA 会員・会友：21,600円(税込)
 申し込み 1) 参加申込書にご記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込みください。(web でもお申し込みできます)
 2) 申込み順に、参加費を記載した受付票を返信致します。
 3) 受付票が届き次第、参加費をご確認の上、指定口座にお振り込み下さい。
 4) 入金を確認され次第、領収書と参加証をお送りします。



※申込み後、3営業日を過ぎても受付票が届かない場合は、事務局までお問合せください。

日本医療福祉建築協会事務局 〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館
 TEL: (03)3453-9904 FAX: (03)3453-7573 E-MAIL: office@jiha.sakura.ne.jp

医療福祉建築フォーラム参加申込書

日付： 2017 年 月 日

一般・JIHa 会員・JIHa 会友 (○を付して下さい)

法人名			
所在地	〒		
担当者		部 署	
T E L		F A X	

参加者名	参加者名

日本医療福祉建築協会 行 FAX (03) 3453-7573

医療福祉建築フォーラム 2017 プログラム

第1日 9月21日(木) 9:00 開場

9:30-9:35	会長あいさつ 上野 淳 (一般社団法人 日本医療福祉建築協会 会長)
9:35-10:35	講演: 地域包括ケア病棟の役割 仲井培雄 (地域包括ケア病棟協会 会長)
10:45-11:45	講演: NICUの照明デザイン 東海林弘靖 (LIGHTDESIGN INC. 代表・照明デザイナー)
11:45-12:45	昼食休憩
12:45-13:45	講演: 21世紀の救急医療 現場から高度医療を始める 今明秀 (八戸市立市民病院 院長)
14:00-16:30	シンポジウム: 東日本大震災後の病院建築 司会: 小林健一 (国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部) 事例紹介: 1) 共同建築設計事務所 2) 佐藤総合計画 3) 日建設計 4) 久米設計

第2日 9月22日(金) 9:00 開場

9:30-10:30	講演: 医療介護の一体改革について 迫井正深 (厚生労働省 保険局医療課 課長)
10:40-11:40	講演: 次世代型ハイブリッド手術室の設計 荒川芳輝 (京都大学 医学研究科 脳神経外科 特定講師)
11:40-12:40	昼食休憩
12:40-14:10	講演: 感染管理と病院建築 (ICRA など) 進行: 郡明宏 (鹿島建設 建築設計本部 建築設計統括グループマネージャー) 講演: 松永直久 (帝京大学医学部附属病院 感染制御部 講師)
14:20-16:30 (途中10分休憩)	シンポジウム: 多様化する看取りの場 司会: 山口健太郎 (近畿大学建築学部 教授) 孔相権 (山口大学 感性デザイン工学科 講師) 市原美穂 (全国ホームホスピス協会 理事長) 池田徹 (社会福祉法人生活クラブ風の村 理事長)

(公社) 日本医業経営コンサルタント協会「医業経営コンサルタント」継続研修: 11.0時間 (予定)
建築CPD (継続能力/職能開発) 情報提供制度認定プログラム (予定)

* 講師敬称略、テーマ・講師は変更されることがあります。

東アジアシンポジウム 2017 開催のご案内

東アジアシンポジウムは、アジア近隣諸国との国際交流・医療福祉施設の建築に関する情報交換を目的として、日本・韓国・中国の東アジア3か国の持ち回りで、ほぼ隔年で行っているものです。

第1回シンポジウムが2004年に東京で開催されたのを初めとし、これまでに2巡開催され、今年秋に3巡目の最初の東アジアシンポジウムが日本・東京で開催される運びとなりました。

今回は「スマートホスピタル」をメインテーマとして、関連するいくつかのサブテーマを設けました。各国から5名ずつ（計15名）の発表者を募集いたします。参加者には人数の制限がございません。お誘い合せの上、ご応募、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

JIHa 国際委員会 委員長 巖 爽

記

東アジアシンポジウム 2017

Symposium on Healthcare Architecture in East Asia 2017

日 時 2017年11月20日(月) 10:00~18:00 (予定)

会 場 東洋大学赤羽台キャンパス (東京都北区赤羽台1-7)

テ ー マ Sharing Knowledge for Next-Generation “Smart Hospital”

次 第 ・Opening Ceremony

・Parallel thematic sessions

(1) IoT/ICT/BIM in Hospital Architecture

(2) Post-Disaster Hospital Design

(3) Healing Environments in the Aging Society

・Closing Ceremony

参 加 費 5,000円 (税込)

参加申込み 件名を「東アジアシンポジウム参加希望」とし、参加者名、所属、連絡先を明記して、E-mail(office@jiha.sakura.ne.jp)宛にお申し込み下さい。

発表申込み 上記テーマに関する実践・研究発表(英語)をご希望の場合には、**8月18日(金)**までにご連絡下さい。

アブストラクト提出締め切り：**9月1日(金)**

フルペーパー提出締め切り：**9月15日(金)**

主 催 日本医療福祉建築協会 (JIHa)

共 催 中国医院協会 (HASRB)

韓国医療福祉施設学会 (KIHA)

問い合わせ JIHa 事務局 E-MAIL: office@jiha.sakura.ne.jp